

常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【5月6月度の御金言】二十八年が間、又他事なし。只妙法蓮華經の七字五字を、日本国の一切衆生の口に入れんとはげむ計りなり。此れ即ち母の赤子の口に乳を入れんとはげむ慈悲なり。

【諫曉八幡抄】(全集 585 頁)

法華講信条

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇氣を持とう。(破邪顯正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991年2月13日掲揚

☆ 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)

還付金詐欺とは、電話で、あなたに税金、保険料、医療費等々の還付金があるので ATM のカード番号を教えてくださいと聞き出し、その人の銀行口座から預貯金が引き落とされてしまうという、誰にでも起こり得る、オレオレ詐欺が、どれほどテレビ、ラジオ、新聞、金融機関等で連日注意していても後を絶たない様に、拡大深刻化している犯罪であります。東南アジアに犯罪アジトが存在し、だまして人集めをして寄宿生活をさせられ、電話を掛けまくっていたというニュース等を見聞すると、本当に人間の一番弱い、いやしい心理をもてあそぶ、永遠に無くならない犯罪だだと思います。現世利益目的の洗脳指導は、これと同じだと思います。

信心をすれば、病気にならない、病気が治る、貧乏人が金持ちになる、他人よりも出世し、給料が沢山貰える、借り方から貸方になれる、人生の悩み苦しみが全て解決し、幸せになれる、自分でどうすることも出来ない性格まで人間革命出来る、過去の宿業を断ち切ることが出来る等々を指導され、洗脳と思わず信仰だと思い込んでやってきたのであります。しかし、これは日本中の新興宗教(霊友会、PL 教、天理教、金光教等々)も、戦後の混乱と貧困にあえぐ社会の中で、何かにすがりたいと思う心に、病気が治る、御金が儲かる、悩みが無くなるという、どの新興宗教も同様の現世利益の働きかけで、社会現象といわれる程の組織拡大をしていったのであります。その中で、創価学会は、自分達は大本山という本山が有り、新興宗教ではないと日蓮大聖人の教えに基づくと、日蓮正宗の権威を利用し、指導は会長を中心として、創価学会でしますから大本山ではないで下さい。という徹底した現世利益絶対中心の活動方法を取りました。当然、日蓮大聖人の教えでは無い、【人間革命】【宿命転換】【宿業を断ち切る】【御題目を沢山唱えれば幸せになれる】等々が創作され組織拡大の中心理念になっていきました。時代は戦後復興の景気上昇傾向にあり、中学校卒業者が金の卵といわれ集団就職で都会に運ばれ、働く気持ちさえ有

れば就職に困ることが無い時代、1日1日世の中が変わり家庭経済が豊かになっていく状態が、高度成長時代のバブルがはじけるまで続くのであります。この世の中の高度成長時代の繁栄さえも、信心している御陰で、こうなったという、思い込み功德話にすり替えて行ったのであります。創価学会をはじめとする全ての新興宗教が、この時期に組織拡大しているのであります。病気であれば、新興宗教草創期には、脳外科、心臓外科、心療内科等々も無く、脳梗塞、心筋梗塞はあきらめなくてはならない病気でした。精神の混乱も、単純に精神病と呼ばれ、その人や家族まで、世間から白い眼で見られるような状態だった、高齢で寝たきりになったり、認知症、身体障害者がいれば、恥と世間に知られないように隠す様な生活だった。医療が無力と思えるほどあきらめなければいけない病状が多かった、だからその未知不可解な苦しみを神仏宗教にすがる人達が常識のようにいた。それを現代人が幼稚だと笑うことは出来ないと思う。しかし生命は唯物物ではないのだから、全ての生命の繋がり、永遠の過去現在未来の繋がりの中に存在しているのだから、これからの未来に、生命を物として考える、医療や科学では100%解明することは絶対出来ないのであります。

しかし、こうしたことが一つ一つ明らかになって行くにつれて、その事を現世利益の材料にしてきた新興宗教は、近年ドンドン衰退し、組織の初期に深く洗脳され、組織が間違っていようが法律を犯して世間に非難されようが、私は組織を信じてついて行くという、法が中心では無い人達は頑迷にしがみついているでしょうが、その精神性が子や孫や縁する人々に相続されて行く可能性は極めて少ないと思います。その為、創価学会は、平和団体の様なイメージチェンジ戦略の宣伝をテレビ、ラジオ、新聞で流しています。しかし、「頭隠して尻隠さず」体質までの改善はできませんから、どこまでも一貫して現世利益集団なのであります。

勿論、仏教の何も知らない人々が、藁をもつかむ現世利益目的をきっかけで入信した事は、しかたのない当然の事だと思えます。しかし座談会で大白蓮華で御書の勉強をすれば、日蓮大聖人の教えが現世利益目的の教えでないことは容易に分かるはずなのであります。しかし、創価学会の巨大化された組織から毎日毎日怒濤のように出た来る洗脳情報に考える暇もなく流されて行ってしまったのであります。僧侶も同罪で、知っていても、創価学会の力におびえ、言えない、言わないで、流されていきました。正信覚醒運動は、懺悔と訂正と罪障消滅の罪ほろぼしの運動だと私自身思っています。本来の日蓮大聖人の教えは何なのかを自他共に鮮明に示して生きていかなければいけない道程だと思えます。私達は、創価学会時代に間違った洗脳教育を子や孫や縁する人々に伝えたことを謝罪し、日蓮大聖人の教えは一切衆生平等成仏の法であることを改めて伝えていかなければいけない運動だと思えます。だからこそ、誰か他人に、創価学会時代の間違った現世利益の洗脳を治して貰うことは出来ません。自分で現世利益絶対否定の信心、一切衆生平等成仏の信心に治していかなければならないのであります。